

- 問1 律令制度に基づく中央官制において、神事をつかさどる神祇官とともに、政治の最高機関として位置づけられた組織を何といいますか。その下に八省を従え、実務を統括した名称を答えなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
1. 六波羅探題                      2. 評定衆                      3. 太政官                      4. 摂政
- 問2 672年に起こった壬申の乱のあとの政治的な変化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 乱はわずか一日で鎮圧されたため、それまでの豪族中心の政治体制に大きな変化は生じなかった。      2. 勝利した天武天皇が、豪族の力を抑えて天皇の権威を高め、律令国家の建設を強力に推進した。      3. 勝利した側が唐の制度をすべて廃止し、日本独自の貴族による合議制を確立させた。      4. 乱を平定するために武士の力を借りた朝廷は、これを機に武士の政治的な実力を認めるようになった。
- 問3 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんばしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 瀬戸大橋                      2. 明石海峡大橋                      3. 東京都庁舎                      4. 東京スカイツリー
- 問4 中大兄皇子（天智天皇）らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること      2. 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること      3. 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること      4. 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること
- 問5 7世紀の日本の出来事をまとめた歴史の年表において、聖徳太子が小野妹子らを中国の隋へ派遣したという記述があります。この時、進んだ制度や文化を日本に持ち帰ることを目的として派遣された使節の名称を答えなさい。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 朝鮮通信使                      2. 遣明使                      3. 遣隋使                      4. 遣唐使
- 問6 聖徳太子が小野妹子を隋の皇帝のもとへ派遣した際、国書の中で示した外交姿勢やその目的についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 中国の皇帝に臣下として仕えることで、日本国内での支配権を認めてもらうことを目的とした      2. 中国の優れた制度や仏教文化を学び、対等な立場での国交を結ぶことで日本の地位を高めようとした      3. 唐から戒律を伝える高僧を招き入れることで、国内の仏教界の規律を整えることを目的とした      4. 朝鮮半島での軍事的な優位を保つため、隋に対して援軍の派遣を要請することを目的とした
- 問7 7世紀半ば、朝鮮半島の北部に高句麗、南東部に新羅、南西部に百済が位置していた時代、中大兄皇子らは、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた「半島の南西部に位置する国」を復興させるために大軍を派遣しました。この出来事に関連する戦いの名称として正しいものはどれですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 刀伊の入寇                      2. 元寇                      3. 白村江の戦い                      4. 壇ノ浦の戦い
- 問8 大化の改新から始まる律令制度のもとでは、戸籍に基づいて人々に土地を分け与える仕組みが整えられました。この仕組みにおいて、土地が与えられる対象となる年齢と、その土地が返還されるタイミングの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 6歳以上になったときに与えられ、一定の税を納めている限り永久に所有が認められた。      2. 6歳以上になったときに与えられ、本人が死亡したときに国へ返還された。      3. 15歳以上になったときに与えられ、耕作ができなくなった時点で没収された。      4. 15歳以上になったときに与えられ、本人が死亡したときに家族へ受け継がれた。
- 問9 7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島への出兵で大敗したことをきっかけに、急速に国家体制の整備を急ぐこととなりました。この時期の歴史的な流れについて説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いでの敗戦後、国内の守りを固める必要が生じ、のちに壬申の乱を経て実権を握った天武天皇らが藤原京の造営や律令の整備を進めた。      2. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利したことで、日本は朝鮮半島での影響力を強め、その記念として藤原京を造営した。      3. 壬申の乱で勝利した持統天皇が、百済を救援するために白村江の戦いを引き起こし、その戦費をまかなうために藤原京から平城京へ遷都した。      4. 藤原京を造営した後に白村江の戦いが起き、その混乱に乗じて壬申の乱という後継者争いが発生した。
- 問10 推古天皇が聖徳太子を「摂政」に登用して行った政治の説明として、当時の制度や目的をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 武士の力を抑えるために聖徳太子を任命し、地方の反乱を鎮圧するための軍事指揮権を与えた。      2. 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。      3. 平城京への遷都を円滑に進めるため、聖徳太子に新しい都の設計と建設の全権を委ねた。      4. 日本独自の国風文化を育てるため、聖徳太子に命じて遣隋使の派遣を停止し、大陸との交流を断った。
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。      2. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。      3. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。      4. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。
- 問12 8世紀の初め、現在の群馬県にあたる地域に建てられた「多胡碑」には、朝廷の命令によって新たな郡が設置されたことが記されています。このように、唐の制度にならって定められた法律に基づき、地方の行政区画を整備することで形成された、天皇を中心とする中央集権的な国家の仕組みを何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 幕藩体制                      2. 律令国家                      3. 守護・地頭制                      4. 封建国家
- 問13 飛鳥時代、聖徳太子が仏教を政治に取り入れた影響を受け、各地の有力な一族が競って寺院を建立しました。このような寺院建立の主な目的や当時の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 武士が戦乱の世を逃れ、極楽往生を願って山奥に阿弥陀堂を建立した。      2. 地方を治める国司が、天皇の代替わりのたびに新しい行政拠点として建立した。      3. 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。      4. 聖武天皇が仏教の力によって国家の災いを取り除こうと考え、全国に一律の規格で建立した。